

令和3年1月20日

南の風 For Junior29

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

42対33桜花リードで3Qに入る。

桜花は開始早々、アマカ選手が4連続ローポストシュートを決める。48点目となったアマカ選手への江村選手の片手のフック気味のパスは、ディフェンスが対応のできない絶妙のパスだった。

相手のペースを切りたい東京成徳は、佐坂選手が左ウイングからドライブのターンシュートを決める。連続得点したい東京成徳であったが、桜花の朝比奈選手が透かさずハイポストからのジャンプシュートを決め返す。また成徳のターンオーバーに乗じて、またまたアマカ選手がゴール下のシュートを決める。

流れを変えたい成徳は、11番の増子選手、13番の金子選手を投入する。しかしまたもや江村選手からローポストのアマカ選手へのパスが通り得点する。成徳も必死にヘルプしてボディアップするが、ものもしないアマカ選手の強さが光る。

何とか打開したい成徳は、トランジションから増子選手が走りドリブルシュートに行く。江村選手のファウルを誘い、フリースロー2本を決める。ここで成徳は1-1-2-1のゾーンプレスを仕掛ける。ボールを運ばれるとゾーンで対応する形となる。桜花は冷静にボールを運び、ゾーンの裏からリフトした朝比奈選手が絶妙のロールターンシュートをする。外れたボールをアマカ選手がリバウンドして得点する。成徳は素早いトランジションでボールを運び、青野選手が右ウイングから3Pを沈める。

連続ポイントがほしい成徳だが、朝比奈選手とアマカ選手のハイロープレーでディフェンスを崩しアマカ選手がゴール下を決める。波に乗ったアマカ選手を抑えることは難しい状況となる。ついて行きたい成徳は佐坂選手が右ウイングからロングシュートを決める。桜花60対42東京成徳となる。

ここで成徳増子選手のドライブに対して、桜花江村選手が4つ目のファウルをする。江村選手はベンチに下がる。増子選手は2本とも決める。この後成徳の須田選手も相手のファウルからフリースローをもらい、2本決める。

江村選手がいない間に差を詰めたい成徳であったが、その流れを切ったのが、左ウイングから豪快にドライブインでシュートを決めたのがアマカ選手であった。江村選手がいないコートで味方を勇気づけるためには十分のプレーであった。意地を見せたい成徳は、トランジションから山田選手がスピードに乗ったドライブシュートを決めた。桜花62対48成徳。

ここで桜花は朝比奈選手とアマカ選手のハイローの合わせがあって、アマカ選手のシュートが決まったかに見えたが、ボール受けた瞬間に腕でディフェンスを押してチャージングを取られてしまう。桜花は江村選手をコートに戻し引き締めにかかる。

成徳は残り17秒から山田選手が時間を使い、4~5秒のところ右エルボーの上からミドルシュートを放ち見事に決めた。桜花62対52東京成徳で3Qが終了した。

3Q前半はアマカ選手、朝比奈選手の活躍で一方的になるかと思われた。その流れを防いだのが、東京成徳の粘り強いディフェンスと、要所で見せる3Pやドライブインであった。うまくタイムシェアしながら登録メンバーみんなと戦っている印象であった。